

公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟

2017年度事業報告

I 概要

2017年度の会員数は少しずつですが減少を続けており、自然減の数と新規登録者数が均衡に達するまでは今後も減少が続くと思われます。事故の点ではタンデムで3件の事故が発生しパッセンジャーに対する被害の防止が大きな課題となりました。競技の面では、安全な競技運営のためにハンググライダー競技にライブトラックが導入されました。パラグライダー競技ではJリーグの参加希望者が増えたために競技に参加したくても出場できないケースも発生しました。

1. 収支の現状

2017年度は、収入はほぼ予算通りに進みましたが、単年度収支は全般に予算ほど費用が掛からず、積立金・未払い金の精算も影響して黒字になっています。このような推移のため、年度途中に想定していた公益目的事業基金の取り崩しを実施しませんでした。しかしながら、雑損を加味した損益で見ると若干赤字となり、僅かに総資産を減少させました。以前、「あと3年」で財政的な危機が訪れると説明していましたが、その3年が後ろ倒しになったという事になります。2018年度事業計画の概要に、フライヤー会員5000人の時代を視野にした活動・運営を行うという主旨のことが書かれていますが、3年後にそういう状況が来た場合には、会費値上げ等の対策が必要になると考えています。

2. 組織運営等

- 1) PG・MPGパイロット安全セミナーを開催 11カ所
- 2) 教員検定員による教員助教員更新講習会を20カ所で開催、141名が受講
- 3) レスキューパラシュートリパック更新講習会を8カ所で開催、32名が受講
- 4) 教員技能証学科検定については集合研修検定を2月26日～28日に開催
9名受検、3名にPG教員に認定
- 5) MPG浮力体実験安全セミナーを開催（滋賀県近江八幡市）

3. 特記事項

- 1) 第40回鳥人間コンテスト選手権大会を協賛
7月29日（土）～30日（日） 滋賀県彦根市松原水泳場周辺
- 2) 一般財団法人日本航空協会の航空スポーツ教室「スカイ・キッズ・プログラム」に
東京都ハング・パラグライディング連盟（8月5日～6日）、京都府フライヤー連盟（9月16日）、広島県ハンググライディング連盟（11月11日）が協力
- 5) 後援イベント／体験会
5月27日（土） 千葉県幕張海浜公園 エアフェスタ（ハンググライダー体験）
10月 1日（日） 福島県ふくしまスカイパーク 大空にはばたけ！スカイスポーツ教室
（ハンググライダー体験、ハンググライダーVR体験）
10月28日（土）～29日（日）
東京都代々木公園 代々木公園開園50周年記念イベント
（パラグライダー、ハンググライダー体験）
11月25日（土） 茨城県霞ヶ浦総合公園 FLY AGAIN TSUCHIURA2017
（ハンググライダー体験）
- 6) 第23回スカイスポーツシンポジウムを協賛
12月 2日（土） 都立産業技術高専（荒川キャンパス）

II 事項別状況

1. 組織

(1) 会員数

ア 正会員 47
イ フライヤー会員 7,625名(2018年3月末有効登録数)
ウ 賛助会員 12

(2) 役員構成

理事 9名(内会長1名、副会長2名) 監事 1名(2018年3月末現在)

2. 会議等の開催

(1) 総会

2017年 6月通常総会
開催通知 2017年4月 5日(水)
開催日 2017年6月13日(火) 11:00~17:00
開催場所 北とぴあ 7階・第二研修室
(東京都北区王子)

議案 報告事項1 2016年度事業報告について
報告事項2 2016年度決算報告について
決議事項1 貸借対照表及び損益計算書の承認について
報告事項3 2017年度事業計画について
報告事項4 2017年度収支予算について
決議事項2 JHF役員選任について

(2) 理事会

ア 第1回理事会 開催日 5月12日(出:理事7、監事1)
イ 第2回理事会 開催日 6月13日(出:理事9、監事1)
ウ 第3回理事会 開催日 7月20日(出:理事9、監事1)
エ 第4回理事会 開催日 10月19日(出:理事9、監事1)
オ 第5回理事会 開催日 1月18日(出:理事9、監事1)
カ 第6回理事会 開催日 3月29日(出:理事9、監事1)

文書理事会 開催日 6月7日、6月19日2件、8月28日、12月11日、
1月24日、1月30日2件、3月1日、3月5日

(3) 委員会

ア ハンググライダー競技委員会 競技会開催時に実施
イ パラグライダー競技委員会 競技会開催時に実施
ウ 補助動力委員会 4/17、7/22-23、11/10、1/19
エ 教員・スクール事業委員会 12/12-13
オ 安全性委員会 10/12、2/8
カ 制度委員会 12/12
キ ハングパラ振興委員会 11/7、2/27
ク 役員選任実行委員会 11/29、2/27
ケ 委員長理事合同会議 2/14

上記のほか電子メール会議を実施し、経費削減に努めた。

3. 事業の実施状況

(1) 普及振興活動

ア JHF レポートを発行（4月、7月、10月、1月）

（独立行政法人日本スポーツ振興センター・スポーツ振興くじ助成を受けて発行しています）

イ 都道府県連盟事業費の交付

ウ 日本学生フライヤー連盟へ助成金交付

(2) フライヤー会員登録

登録数：2017年度 5,668名（新規・更新）

2016年度 5,712名

(3) 技能証発行

ア HG： 210枚（2016年度 205枚）

イ PG： 1,034枚（2016年度 1,035枚）

ウ MPG： 17枚（2016年度 35枚）

エ レスキューリパック認定証 39枚（新規6・更新33）

(4) 競技会の主催・公認・後援

ア HG： 17件（内FAIカテゴリーI・II：4件）

イ PG： 20件（内FAIカテゴリーI・II：2件）

ウ HG・PG同時開催： 6件

(5) 競技会の開催

ア HG：

1 日本選手権

2017年2月9日～12日 和歌山県 紀の川フライトパーク

参加55名 不成立

2 クラスV日本選手権 11月2日～5日 茨城県足尾エリア

参加11名 日本選手権者：松田隆至

3 ハンググライディングシリーズ（参加人数96名）

第1位 田中元気 女子第1位：佐野容子

4 ハンググライディングフライトコンテスト

フリーディスタンス クラスV 1位 岡田伸弘（179.31km）

クラスI 1位 氏家良彦（127.40km）

アウトアンドリターン クラスV 1位 塩野正光（126.21km）

クラスI 1位 十一 誠（72.68km）

トライアングル クラスV 1位 松田隆至（129.54km）

クラスI 1位 牟田園明（76.42km）

デュレーション クラスV 1位 岡田伸弘（5:46:48）

クラスI 1位 石坂繁人（9:16:47）

イ PG：

1 日本選手権

9月15日～18日 茨城県足尾山エリア

参加62名 不成立

2 アキュラシー日本選手権

8月25日～27日 岐阜県池田山エリア

参加15名

日本選手権者：和田浩二

3 ジャパンリーグ（参加人数146名）

オープンクラス 1位：岩崎拓夫

オープンクラス女子 1位：平木啓子

スポーツクラス 1位：中目みどり

スポーツクラス女子	1位：中目みどり
ジャパン2リーグ（参加人数72名）	
総合	1位：佐野恵治
女子	1位：畑中義美
クロスカントリーリーグ（38名）	110本
	1位：二三四藤昭（440.5km）
最長フライト	二三四藤昭（163.0km）
アキュラシージャパンリーグ（参加人数43名）	
スクラッチクラス	1位：岡 芳樹
スクラッチクラス女子	1位：伊藤まり子
ハンディキャップクラス	1位：横井清順
学生クラス	該当者なし
チーム	1位：のびのび

(6) スクール・エリア情報の収集及び公開

ア	スクールサイト登録校	163件	（うち新規登録校7件）
イ	エリア情報掲載	176件	（削除1件）

(7) 海外関係団体活動

ア	CIVL総会	2018年2月1日～4日	ポルトガル
	出席者：	デレグイト 岡 芳樹、HG競技委員 牟田園明	

(8) 世界選手権へのチーム派遣

ア	第22回FAIハンググライディングクラスI世界選手権
	参加選手：13名（内7名個人参加）
	8月9日～18日 ブラジル
イ	第15回FAIパラグライディング世界選手権
	参加選手：4名
	7月1日～15日 イタリア
ウ	第9回FAIパラグライディング・アキュラシー世界選手権
	参加選手：6名
	5月5日～14日 アルバニア

(9) その他

ア	機体型式登録	0件（PG 0件、HG 0件）
イ	機体情報登録	0件（PG 0件、HG 0件）

添付： 2017年度 委員会活動報告補足

以上

＜ 2017年度委員会活動報告補足 ＞

ハンググライディング競技委員会 委員長 板垣 直樹

- 1) ルールブックの改訂
- 2) 委員会ホームページの運営
大会公認案内、エントリー案内等の更新は随時実施。
- 3) ライブトラックの競技導入により集計の簡略と安全運営の両立。
- 4) 第22回FAIハンググライディングクラスI世界選手権選手派遣（ブラジル（BRASILIA））
2017年8月9日～18日 約131名参加、日本から13名（内7名は個人参加）
鈴木博23位・砂間隆司24位・大門浩二28位・氏家良彦38位・田中元気50位・小高史朗58位・加藤実60位・野尻知里84位・岡田伸弘86位・佐野容子97位・名草慧106位・鈴木由路115位・鈴木あき子117位 * ____日本代表選手
国別 7位
- 5) 2017年ハンググライディング・クラスI日本選手権開催（和歌山・紀ノ川）
2017年2月9日～12日 55名参加 タスク1本成立・日本選手権不成立
1位 板垣直樹・2位 鈴木由路・3位 砂間隆司、4位 鈴木博司・5位 野尻知里・6位 田中元気
女子1位 野尻知里・2位 佐野容子・3位 鈴木あき子
- 6) 2017年クラスV日本選手権開催（茨城・足尾）
2017年11月2日～5日 11名参加。タスク4本成立。
日本選手権者：松田 隆至・2位 岡田伸弘・3位 宍戸 俊之
- 7) ハンググライディングシリーズ管理運営
参加人数 96名
1位 田中元気・2位 板垣直樹・3位 太田昇吾
女子1位 佐野容子・2位 鈴木あき子・3位 野尻知里
- 8) ハンググライディングXCリーグに変わってフライトコンテストを開始
フリーディスタンス
クラスV 1位:岡田伸弘 179.31km・2位:塩野正光 175.41km
クラスI 1位:氏家良彦 127.4km
アウトアンドリターン
クラスV 1位:塩野正光 126.21km・2位:宍戸俊之 111.49km・3位:山本剛 99.77km
クラスI 1位:十一誠 72.68km・2位:野尻知里 69.24km・3位:太田昇吾 36.4km
トライアングル
クラスV 1位:松田隆至 129.54km m・2位:塩野正光 92.0km・3位:山本剛 39.06km
クラスI 1位:牟田園明 76.42km・2位:野尻知里 69.8km
デュレーション
クラスV 1位:岡田伸弘 5:46:48・2位:塩野正光 5:32:00・3位:宍戸俊之 4:34:02
クラスI 1位:石坂繁人 9:16:47・2位:鳥羽岳太 8:3:39・3位:鳥海真弓 6:34:15
- 9) ハンググライディングシリーズ大会を全てカテゴリー2大会とした。
- 10) 各種大会のJHF公認および後援申請に対する審議および承認

パラグライディング競技委員会 委員長 岡 芳樹

1) ルールブックの改訂

2) WEB事務局・ホームページ管理

3) 第9回パラグライディング・アキュラシー世界選手権（アルバニア、フローラ：2017年5月5日～14日）へ選手派遣（男子4名、女子2名：岡 芳樹、古田岳史、小松理樹、川村 眞、伊藤まり子、山口香代）

総合1位：ツヴェタン・ツォロフ（ブルガリア）2位：マチアス・スルーガ（スロヴェニア）、3位：ハイピン・チェン（中華人民共和国）、51位：岡、90位：川村、103位：小松、121位：古田、124位：山口、125位：伊藤。

女子1位：ヌナパット・プチョン（タイ）、2位：マルケッタ・トマシコヴァ（チェコ共和国）、3位：リカ・ウィジャヤンティ（インドネシア）、21位：山口、22位：伊藤。

国別1位：中華人民共和国、2位：セルビア、3位：チェコ共和国、12位：日本。

4) 第15回パラグライディング世界選手権（イタリア、モンテアヴェーナ：2017年7月1～15日）へ選手派遣（男子3名、女子1名：上山太郎、呉本圭樹、廣川靖晃、平木啓子）

総合1位：ピエール・レミ（フランス）、2位：ギ・アンダーソン（イギリス）、3位：オノラン・アマー（フランス）およびユリ・ヴィディッチ（スロヴェニア）、65位：廣川、77位：上山、82位：平木、115位：呉本

女子1位：福岡聖子（フランス）、2位：カリ・エリス（オーストラリア）、3位：シルヴィア・ブッチ・フェラリ（イタリア）、5位：平木。

国別1位：フランス、2位：スロヴェニア、3位：スイス、20位：日本。

5) Jリーグ、J2リーグ、XCリーグ、AJリーグ管理

・ Jリーグ結果（参加人数146名）

オープンクラス	1位：岩崎拓夫、	2位：上山太郎、	3位：呉本圭樹
オープンクラス女子	1位：平木啓子、	2位：山下敦子、	3位：中目みどり
スポーツクラス	1位：中目みどり、	2位：阿知波広和、	3位：川名美江
スポーツクラス女子	1位：中目みどり、	2位：川名美江、	3位：早坂真有美

・ J2リーグ（参加人数72名）

総合 1位：佐野恵治、2位：石井 旭、3位：畑中義美

女子 1位：畑中義美、2位：橋本 泉、3位：田村康子

・ XCリーグ（38名、110本）

1位：二三四藤昭（440.5km）、2位：多賀純一（404.3km）、3位：中川喜昭（392.8km）

最長フライト：二三四藤昭（163.0km）

・ AJリーグ（参加人数43名）

スクラッチクラス 1位：岡 芳樹、2位：塚原隆信、3位：和田浩二

スクラッチクラス女子 1位：伊藤まり子、2位：平木啓子、3位：山口香代

ハンディキャップクラス 1位：横井清順、2位：古田岳史、3位：塚原隆信

学生クラス 該当者なし

チーム 1位：のびのび、2位：ゆるゆる、3位：Airkassy

6) 2017年度日本選手権開催（茨城県足尾エリア）2017年9月15～18日

タスク2本成立/4日 62人参加 規定により日本選手権として不成立。

総合1位：中川喜昭、2位：Eliseev Andrey、3位：稲見祐二、4位：和田浩二、
5位：廣川靖晃、6位：高杉慎吾

女子1位：中目みどり、2位：平木啓子、3位：高橋美佳

スポーツクラス1位：中目みどり、2位：花村泰明、3位：高橋美佳

- 7) 2017年度アキュラシー日本選手権開催（岐阜県池田山エリア）2017年8月25～27日
8ラウンド成立 49人参加（オープン参加の18名含む）規定により日本選手権として成立。
オープン総合1位：ジャンウエイ・ワン（中華人民共和国）、2位：チャンミン・リー
（大韓民国）、3位：ムンソブ・リム（大韓民国）、4位：オドン・ヒョン（大韓民国）、
5位：ジフン・ヨー（大韓民国）、6位：キム・キーヒョン（大韓民国）、
日本選手権総合1位：和田浩二、2位：岡 芳樹、3位：横井清順、4位：古田岳史、
5位：吉富周助、6位：平木啓子
日本選手権女子1位：平木啓子、2位：伊藤まり子、3位：小川由希子

安全性委員会 委員長 伊尾木 浩二

1) 事故情報の収集と管理

- (1) 2017年の事故報告内容収集及び報告書作成
- (2) DHV 2016年度事故集計報告の翻訳

2) 機体登録制度の推進

3) PGパイロットセミナー資料作成（2017～2018年度版）2017年春に完成済み

4) MPGパイロットセミナー資料監修（2018～2019年度版）2017年度末に完成済み

5) PG・MPGパイロットセミナーの推進

6月25日	PG 群馬県 安全セミナー	約30名
7月23日	MPG琵琶湖安全セミナー	約30名
10月28日	PG九州 久留米市	28名
11月19日	PG群馬県 安全セミナー	約30名
12月16日	PG埼玉県 堂平スカイパーク	32名
12月 9日	MPG北琵琶湖クラブ	28名
12月10日	MPG埼玉県東松山エアウイング講習	30名
12月 3日	PG宮崎県 都城PGクラブ	17名
12月17日	PG長崎県 安全セミナー	16名
2月18日	PG山形県安全セミナー	20名
3月17日・18日	PG・MPG石川県連安全セミナー	45名

6) セーフティノーツの管理（担当：竹村）

- ・定期的に管理し、可能な範囲HPに反映

7) ハング機体整備制度・現状調査（担当：西本）

8) 安全性委員会HP状況管理（担当：伊尾木）

- ・定期的に確認

9) 事故情報アンケート調査実施（全国スクールおよびクラブエリア宛て）

10) セーフティタグの制作と配布の検討（安全注意喚起用）

・ネームプレートレベルの小さなものをハーネスまたはライザーへ取り付ける。

(5 チェック項目)

- 1 レスキューピン
- 2 ラインチェック
- 3 バックル
(レッグ→チェスト)
- 4 無線機
(通信→ロック)
- 5 風の状況

教員・スクール事業委員会 委員長 山谷 武繁

- 1) 教員実技検定会 PG 2名 HG 0名
- 2) 教員学科集合検定(2月26日~28日) 参加人数9名
- 3) 教員助教員更新講習会 20カ所 141名受講
- 4) レスキューパラシュートリパック認定証検定会 3カ所(新規6名)
- 5) レスキューパラシュートリパック認定証更新講習会 8カ所 32名受講
- 6) PG教本改訂作業(最終校正段階)
- 7) HG教本作成(校正作業中)
- 8) パイロット証更新制度導入案の作成
- 9) タンデム技能証規程変更案作成

補助動力委員会 委員長 須藤 彰

- 1) MPG重大事故情報収集活動。(5名死亡)
 - 4月16日 静岡県(離陸直後墜落)
 - 5月21日 山口県(海上墜落)
 - 6月11日 千葉県(河川墜落)
 - 8月5日 神奈川県(きりもみ墜落)
 - 2月24日 北海道(機材点検事故)
- 2) 安全セミナー開催
 - 7月 琵琶湖浮力実験と安全セミナー
 - 12月 北琵琶湖クラブ安全セミナー
埼玉東松山エアウイング安全セミナー
 - 3月 石川県安全セミナー
- 3) 2018年度版安全セミナー資料改善作業
 - 3月 完成・印刷(2018年4月から使用分)
- 4) 下総自衛隊安全会同参加
 - 2月 千葉県下総自衛隊基地
- 5) 2018年MPG全国大会計画準備

日時・場所・内容の設定（10月予定）

制度委員会 委員長 中瀬 誠

- 1) JHFにかかわる制度の定款、規約、規程、規則などの文書管理
 - 理事会諮問事項への答申
 - I P P Iカードに準じたHG・PG技能証規程の改定検討
 - F A I技能記章、公式立会人に関する事項の研究
 - フライヤー登録証付き技能証の研究
 - ウェブでのフライヤー登録システムの研究（外国人ビジターを含む）
 - ウェブでのクレジットカードの支払の研究
 - 教本電子書籍化の研究
- 2) 他委員会および事務局との連携
 - 役員選任について役員選任実行委員会に協力して検討
 - HG教本の全面改訂作業に協力
 - 各種制度導入および改定について教員・スクール事業委員会と検討

ハングパラ振興委員会 委員長 井上 潔

- 1) パンフレット「ハングライダーで飛ぼう」制作と発行
- 2) 今飛んでいる人が飛び続けられる環境作りの検討
 - フライヤーズボイスの定期的に更新体制の運用
 - 飛ぶのを止めてしまった方の状況分析着手
 - 学生が卒業して止めてしまう問題の分析と対応策検討(学連と連携)
 - 家族向けパンフレット「ご家族の皆様へ」（仮称）制作着手
- 3) 体験会等イベントへの協力
 - 体験会を安全に実施するための指針検討
- 5) 外部組織との連携
 - VR体験に関する大学研究室との協力体制整備
- 4) HG教本およびPG教本改訂への協力

役員選任実行委員会 委員長 鈴木 由路

- 1) 2017年度総会における役員選任の実施